

最新モノづくり領域における デジタル化ストラテジー

IoTやデジタル変革というキーワードは世のトレンドとして提唱されていますが、蓋を開けてみると、企業の取り組み状況は必ずしもうまく行っていない場合も多いようです。『実験から先に行かない』、『業務につながらない』、『プロジェクトが巨大化しすぎて身動きが取れない』など失敗事例も出始めています。失敗要素の一つとして、“IoTでモノを繋げてデータを可視化する”だけで終わってしまうことが考えられます。

クニエとSAPが推奨するデジタル革新とは、IoTにより可視化されたデータから得られた洞察を実世界の業務プロセスに戻し、正しいアクションに繋がることで初めて改革が達成できると考えます。これを実現するのが『Intelligent Enterprise』です。

本セミナーでは、SAPのデジタル化戦略である『Intelligent Enterprise』のご紹介に加え、実験だけでは終わらないデジタル改革の現実解を、製品に依存しない中立的なコンサルティングファームであるクニエをご紹介します。



【開催日】 2018年9月6日(木) 14:00-17:50(受付開始 13:30)
【会場】 SAPジャパン株式会社 本社 東京都千代田区麹町1-6-4 SAPジャパンビル 3F会議室
【対象】 ・デジタル変革を模索されているお客様
・AI、機械学習等の新規技術のビジネス適用を検討のお客様
【主催】 株式会社クニエ、SAPジャパン株式会社【参加費】無料(事前登録制)
【申し込み】 http://www.qunie.com/seminar/eve180906_13.html

13:30-	受付開始
14:00-14:10	ご挨拶
14:10-14:30	デジタル改革を実現するイノベーションシステムを提供できるのはSAPだけ! SAPジャパン 株式会社 デジタルエコシステム統括本部 パートナー営業部 野田瑞佳 企業のデジタル戦略を支える最新プラットフォーム『Intelligent Enterprise』とSAPのイノベーションコンセプトをご紹介します。 AIや機械学習を組み込んだ業務システムのインテリジェンス化によって、企業にとってどのようなメリットをもたらすか?概要をご紹介します。
14:30-15:30	【デジタル改革取り組み事例紹介】AIを活用したデジタル改革のトレンドと現状 株式会社クニエ ディレクター 江本和徳 情報技術による経営の革新という文脈において、昨今、急速に存在感を強めている技術要素として機械学習があります。機械学習は研究開発、生産から顧客接点まで、バリューチェーンのあらゆる局面において活用が進められており、単に人がやってきた仕事を自動化、効率化するというレベルを超えて、機械学習によってのみ可能な新しいエンタープライズの在り方が模索されています。 今回は先進事例における取組みとして、戦略的なフォーカスをもった機械学習活用の進め方、またその実施にあたって求められる組織、スキル、リソースについてご紹介します。
15:30-15:40	休憩
15:40-16:20	Intelligent Enterpriseを支えるデジタルプラットフォーム&インテリジェントテクノロジーのご紹介 SAPジャパン 株式会社 プラットフォーム事業本部エバンジェリスト 松舘 学 Intelligent Enterpriseの実現には、分散する企業内システムを横断的にアクセス可能なデータ活用プラットフォームや、蓄積したデータをインテリジェントに活用するためにマシンラーニング等のさまざまな要素技術が求められます。本セッションでは、SAPの提供するテクノロジープラットフォームをご紹介します。
16:20-17:10	ものづくりにおけるデジタル変革の中核を担う最新SAPソリューション SAPジャパン 株式会社 IoT & デジタルサプライチェーン グローバルCoE(日本担当)ディレクター 原 尚嗣 さまざまなIT技術の進展によりデジタル変革への取り組み手段や実現像も刻々と変化しており、デジタル化ニーズの高まりと同時に対応のスピードも求められてきています。また、ものづくりにおいてはIoTやIndustry4.0を軸にいかにかデジタル化データを日常の業務の中で活用するかが取り組みにおけるポイントであり、データの取得、解析、業務での活用、改善が一体となったプロセスの構築が重要となります。 本セッションでは、SAPのものづくり関連ソリューションの戦略、最新情報および適用事例などをご紹介します。
17:10-17:40	デジタル改革の取り組みポイントとPoCサービスのご紹介 株式会社クニエ ディレクター 江本和徳 機械学習の活用を成功させるためには下記の三つが重要なポイントと考えます。 ・活用領域についての戦略的なフォーカス ・データ資産の蓄積と全社共通のデータ基盤 ・機械学習スキルリソースの育成と活用組織 これらについては、具体的なテーマ選定、選定されたテーマについてのPoC実施を通じてあるべき姿を定義し、また必要となるスキルリソースを育成することが有効なアプローチです。 弊社はクライアント企業における具体的な課題や蓄積されたデータ資産に基づいた戦略的なフォーカス(ポートフォリオ)整理、機械学習PoC実施を包括的に支援する事で、クライアントにおける機械学習活用体制のクイックな立上げを実現します。
17:40-17:50	質疑応答

お申し込みは担当営業にご連絡いただくか、上記URLからお願いいたします。
*プログラム内容は変更が生じる場合がありますので、あらかじめご了承ください。